

令和元年度第1回人吉球磨定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事録

- 日時 令和元年7月9日（火）14時00分～15時40分
- 場所 人吉スポーツパレス横 東側プレハブ 2F会議室
- 出席者 ビジョン懇談会委員 17名／24名中の出席

	市町村名	団体名(所属)	役職名	氏名(フリガナ)	
1	人吉市	熊本県立大学総合管理学部	教授	イダ タカノリ 井田 貴志	出席
2		人吉市医師会	会長	キベ アキヒロ 岐部 明廣	出席
3		人吉温泉観光協会	副代表理事	カワノ セイイチ 川野 精一	出席
4		球磨焼酎酒造組合	理事	シモダ フミト 下田 文仁	欠席
5		人吉商工会議所	専務理事	イマムラ オサム 今村 修	出席
6		くま川鉄道株式会社	取締役社長	ナガエ ユウジ 永江 友二	欠席
7	錦町	球磨地域農業協同組合(中央営農センター)	センター長	カワナベ クラミツ 川邊 倉光	欠席
8		錦町農業委員会	会長職務代理者	フクモト アチカ 福本 王雅	出席
9	多良木町	球磨郡公立多良木病院企業団	事務長	コタニ セツオ 小谷 節雄	出席
10		多良木町文化協会	会長	タケハラ アツコ 竹原 篤子	出席
11	湯前町	湯前町区長会	会長	ヤナセ テツオ 柳瀬 鐵男	出席
12		湯前町文化財保護委員会	委員長	ミノシタ マサミ 溝下 昌美	出席
13	水上村	水上村中学校PTA連絡協議会		スギノ ヒサシ 杉野 久志	出席
14		水上村社会福祉協議会	福祉活動専門員	ツツミ ユウコ 堤 祐子	出席
15	相良村	相良村商工会	青年部長	マキノ ヤスモ 牧野 耕文	欠席
16		相良村有害鳥獣捕獲隊	隊長	モリマツ サカエ 森松 栄	欠席
17	五木村	株式会社 子守唄の里五木	取締役	モミノキ ハルミ 樅木 晴美	出席
18		五木村観光協会	事務局長	ヤマシタ ケンジ 山下 健二	出席
19	山江村	NPO法人かチャリンクやまえ	専務理事	モトヤマ タミコ 本山 民子	出席
20		山江村民生委員児童委員協議会	会長	ナカムラ ユクオ 中村 征生	出席
21	球磨村	球磨村森林組合	参事	シトミ ハツミ 薮 初美	欠席
22		球磨村教育委員会	教育委員	ナカイ クミ 中井 久美	出席
23	あさぎり町	あさぎり町深田校区婦人会	会長	シラカキ エツコ 白柿 悦子	出席
24		人吉球磨地域女性農業委員ネットワーク	会長	ミヤハラ ヒサコ 宮原 久子	欠席

【幹事会】						
市町村名	課名	職名	氏名			
錦町	企画観光課	課長	深水 英雄		出席	
多良木町	総務課	課長	前田 和博		出席	
湯前町	企画観光課	課長	本山 りか		出席	
水上村	総務課	課長	田代 浩章		出席	
相良村	総務課	課長	川邊 俊二		出席	
五木村	総務課	課長	森田 広信		出席	
山江村	総務課	課長	白川 俊博		出席	
球磨村	企画振興課	課長	高永 幸夫 (代理出席 主幹 友尻 陽介)		出席	
あさぎり町	企画財政課	課長	片山 守		出席	
【オブザーバー】						
熊本県南広域本部 球磨地域振興局	総務振興課	主幹	中村 潤		出席	
		参事	坂本 有以		出席	
【部会事務局】						
部会名	検討母体	事務局 市町村	担当課	役職	氏名	
救急医療部会	救急医療、健診、発達相談部会は合同協議。球磨圏域保健衛生協議会取りまとめ	錦町	健康保険課	課長	小林 由比	出席
健診部会	球磨圏域保健衛生協議会					
発達相談部会	球磨圏域乳幼児発達相談事業運営協議会					
障がい者(児)部会	人吉球磨障がい者総合支援協議会	人吉市	福祉課	課長補佐 (兼係長)	大柿 伸子	出席
文化部会	球磨地域文化財広域連携協議会	人吉市	歴史文化課	課長補佐 (兼係長)	迫田 洋子	出席
農業部会	くま農業活性化協議会	あさぎり町	農林振興課	課長補佐	万江 幸一郎	出席
観光部会	市町村企画・観光担当者会議	人吉市	観光振興課	係長	松永 陽一	出席
企業誘致部会	人吉球磨企業誘致連絡協議会	あさぎり町	商工観光課	主幹	林田 考功	出席
鳥害獣対策部会	球磨地方公有林経営協議会	あさぎり町	農林振興課	参事	田山 勇一	出席
消費生活部会	人吉球磨生活支援ネットワーク	人吉市	市民課 (消費生活センター)	課長補佐 (センター次長)	松下 敏朗	出席
環境部会	人吉球磨地域レジ袋削減推進協議会	湯前町	保健福祉課	課長	白川 一雄	出席
				参事	山口 真子	出席
		多良木町	町民福祉課	係長	久保 広睦	出席
地域公共交通部会	人吉球磨地域公共交通担当課長会	人吉市	企画課	主幹	舟戸 章吾	出席
スマートインターチェンジ部会	人吉球磨スマートインターチェンジ整備促進協議会運営委員会	人吉市	都市計画課	主幹	豊田 泰彦	出席
人材育成部会	人吉球磨総務担当課長会	人吉市	総務課	課長	小澤 洋之	出席
林業部会		人吉市	農林整備課	課長補佐 (兼係長)	福永 卓也	出席
【事務局】						
人吉球磨定住自立圏推進協議会事務局		人吉市	企画政策部	部長	早田 吉秀	出席
			企画政策部企画課	課長	淵上 聖也	出席
			企画政策部企画課	課長補佐 (兼係長)	上村 英明	出席
			企画政策部企画課	主任	丸山 佳子	出席

■ 会議次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付（新任委員）
- 3 人吉市企画政策部長あいさつ
- 4 委員、オブザーバー、事務局紹介
- 5 会長あいさつ
- 6 議事
 - （1）人吉球磨定住自立圏共生ビジョン概要について
 - （2）第1次共生ビジョンの進捗状況及び検証について
 - （3）第2次共生ビジョンの策定スケジュールについて
- 7 その他
- 8 閉会

■ 議事内容

事務局	議事（１） 人吉球磨定住自立圏共生ビジョン概要について 資料１に基づき事務局から説明 ・ 定住自立圏構想の概要 ・ 本圏域の定住自立圏形成とこれまでの経緯
各委員	（意見等なし）
事務局	議事（２） 第１次共生ビジョンの進捗状況及び検証について 資料２、３、４に基づき事務局から説明 （主な説明点） ・ 平成３０年度末時点の進捗率について説明（資料３・資料４） 目標達成（上回る・維持・順調推移）となるものが全体の 75%、目標値を下回るに該当するものが 25%という状況にあり、最終年度における目標値達成見込みは、達成見込み、一部達成見込みが全体の 86%、未達成見込みのものが 14%という状況である。 ・ 第１次共生ビジョンの事業検証について（資料２） ・ 第１次共生ビジョンは、平成 27 年に策定を行いこれまで 3 回の改定実施 ・ 各取組みの目標値達成状況 第１次共生ビジョンでは、人口減少問題に圏域で対応していくため、「生活機能の強化」「結びつきやネットワークの強化」「圏域マネジメント能力の強化」という 3 政策において、8 分野、21 取組事項、46 の具体的な取組を実施。それぞれの成果指標（ＫＰＩ）目標達成状況は、「具体的な取組ベース（一番小さい個別事業ベース）」で全体の 78.3%の 36 事業で最終的に目標達成が見込まれる。 ・ 各取組み施策評価と課題

【保健・医療分野】

休日や夜間の救急医療体制、乳幼児の発達相談や医療体制について受診環境の確保ができています。しかしながら、医療人材確保については引き続き大きな課題である。健診等での事務の効率化、相互受診へ向けてシステム共同化を目標にしているが、各市町村のシステムが異なることや統合した場合に多額の経費を要することから、現状においては財政面でも実現が難しい状況にある。

【福祉分野】

障がいのある方への相談支援、活動支援、療育支援体制の確保ができています。現在、地域生活支援の拠点設置へ向けて圏域で検討を進めている。

【文化分野】

人吉球磨地域の指定文化財数が大きく伸びたほか、日本遺産周遊ルート事業の取組みなど観光素材としての磨き上げも進めることができた。さらに保護と活用を一体的に進めて行く必要がある。

【産業振興分野】

・農業の振興

農業産出額は向上し全般的な維持はできているが、担い手不足と高齢化が深刻な状況であり、さらに担い手育成の取組みを進めて行く必要がある。

・観光の振興

旬夏秋冬キャンペーン事業を通して圏域一体となった観光客の受入体制づくりや共通認識を高め、集客拡大と認知度アップに広がりを見せることができた。地域資源の活かし方、関係機関との連携力向上が課題であるが、平成 29 年度末に圏域自治体を含めた官民連携による人吉球磨観光地域づくり協議会が発足しさらに圏域一体となって事業展開をしていく体制が整った。現在、DMO 設立へ向けて検討を重ねている。湯前人吉自転車道活性化事業においても大会への支援やサイクルスタンドの設置等を進め、平成 30 年度に人吉球磨地域サイクルツーリズム推進協議会が発足。湯前人吉自転車道を含めたより広範囲な取組の検討を進めている。

・企業誘致の推進

圏域で情報交換等を行いながら連携して企業アプローチ、企業訪問に取り組んでいるが、現在の社会情勢として職業選択肢の増加、人材不足が全国的な課題であり地理的にもハンデを持つ人吉球磨地域への企業立地というのは他地域と比較しても困難な状況にある。社会情勢に応じたアプローチ手法を検討しながら今後も圏域一体となって進めていく必要がある。

・鳥獣害対策

防護柵の設置や一斉捕獲などの取組みを進め、被害金額、被害面積ともに減少傾向にある。第 1 次ビジョンでは圏域市町村境界部分での共同による防護柵設置を目標としたが、防護柵設置の現状は費用対効果の面からも“守るべき農地”にポイントを絞った設置手法をとっており、共同化による防護施設の実現は難しい状況にある。

	【その他の分野】 ・消費生活相談業務 消費生活センターを中心に出席講座や巡回相談により圏域内の相談体制の確保ができています。 ・環境保全事業 レジ袋焼却における二酸化炭素排出量削減のため、買い物時のマイバック持参促進やレジ袋削減協力店舗数の増加を目指して取組を進めているが、レジ袋有料化へ取り組んでいる店舗数の状況は十分な状況とは言えない。現在、国がレジ袋有料化方針を示しており、その動向を踏まえ削減への取組を進めて行く必要がある。 【地域公共交通分野】 効率的で効果的な公共交通体系の整備に向けて、指針となる計画策定の検討を重ねている。路線の維持確保のため圏域で支援を行っているが、くま川鉄道の運行本数は現状維持できているものの幹線バスについては統廃合により路線数が減少している状況。少子化により通学利用者は減少しているものの鉄道は通学利用者の重要な移動手段であり、バスは自動車の運転が難しい高齢者などの自動車に代わる移動手段として住民ニーズが高まっている。維持確保していくための財政負担についても懸念される状況にあるが、住民の重要な移動手段として圏域連携して効率的で効果的な公共交通体系整備を進めて行く必要がある。 【道路等の交通インフラの整備分野】 スマートインターチェンジ整備が今年8月の開通に向けて順調に推移しており、利便性の向上、物流の効率化の実現へ向けて一定の成果を上げることができている。今後は事業費の借入金償還について圏域で負担を行う。 【圏域における人材の育成及び活用分野】 圏域市町村間で職員の合同研修を毎年実施している。外部の専門的人材等の活用の推進事業では地域おこし協力隊、地域支援員活用が年々増加している。人事交流事業では、スマートインターチェンジ整備事業における職員交流、人吉球磨観光地域づくり協議会設立に伴う職員派遣を実施。 ・圏域人口数と圏域高齢化率の状況について 第1次ビジョン開始時の平成27年と、今年度4月1日時点と比較すると、人口数が2,273人の減少、高齢化率は2.14%上昇、厳しい状況が続いている。国立社会保障・人口問題研究所という機関の将来推計人口によると、令和7年時点の圏域の人口数はかなり厳しい予測数値である。この定住自立圏に圏域で取り組むことにより人口減少、高齢化率の緩和につなげるような施策を展開していく必要がある。 ・今後の方向性 第1次共生ビジョンでは各取組みともおおむね目標値を達成する見込みであり、圏域連携として取り組むことにより生活関連機能の維持向上という点においては一定の成果をあげているといえる。しかしながら、人口減少は深刻な状況であり今後
--	---

文化部会	も圏域一体となって地域の資源を活かし、安心して暮らし続けることのできる圏域づくりを行っていく必要がある。そのためにも、第1次共生ビジョンにおいて成果が得られた取組については、今後も継続しながら、新たな取組についても検討を進め、人口減少の食い止めと交流人口の拡大を目指して、第2次共生ビジョンを策定し、定住自立圏を推進していく必要がある。 議題（2）に対する委員質疑 【事前質問①】文化財の保護及び活用事業への質問 質問内容：KPI（指定文化財数）の国指定数に国登録文化財数は含まれているのか。数に入っているならば国登録は別概念なので別書きして欲しい。 （文化部会回答） KPI（指定文化財数）の国指定数については、国登録文化財の数を含めた表記としている。うち国登録数は44件。ご指摘のとおり、国登録は別の概念となるため、今後KPIを設定する際は正確な表記に努める。 【事前質問②】文化財の保護及び活用事業への質問 質問内容：日本遺産の変更について協議はされているのか。また、各町村の文化財保護委員は、日本遺産活用協議会や観光協議会にも名前がないが今後検討していただきたい。 （文化部会回答） 今年度、日本遺産の構成文化財の追加などについて検討を行い文化財の保護及び活用の充実、推進を予定している。また、各町村の文化財保護委員の日本遺産活用協議会や観光協議会加盟については今後検討をしていく。 【事前質問③】文化財の保護及び活用事業への質問 質問内容：茅の生産について。人吉球磨地域には、県内にある国県指定社寺建造物の8割以上が集中し、その多くが茅葺である。球磨地域文化財広域連携協議会の茅葺建築修理計画の中で茅の確保が検討されている。青蓮寺葺替（H28）では、4,000束のうち水上村から1,500束を確保するなど、人吉球磨地域で全ての茅を供給することができていない状況。茅の需要と供給の調査や阿蘇地域と同様に人吉球磨地域で茅の生産をするかの検討課題はどのような状況か。 （文化部会回答） 茅の需要と供給の調査については昨年度、文化財担当者会議で調査を実施しており、いかに需要を確保するか、また、お尋ねの人吉球磨地域での茅の生産等の課題解決に向けた協議を始めたところ。 【事前質問④】文化財の保護及び活用事業への質問 質問内容：伝統建築の組織づくりについて。第1次ビジョンの課題は後継者不足に
------	---

	よる文化財の管理と保存。人吉市歴史文化基本構想の中長期施策には、修理技術者など（宮大工、茅葺職人）の育成と組織づくりが示されている。球磨工業高校には、伝統建築専攻科があり受け皿さえあれば後継者不足の解消や人口減少対策につながる。人吉球磨一体で伝統産業の受け皿となる組織を作る課題はどのように取り組む考えであるか。 （文化部会回答） 人吉球磨一体で、伝統産業の受け皿となる組織を作る課題ということについては、今後、受け皿となる「働く場」の確保が課題。この実現のための財源の確保や、人材育成の問題も含め今後検討していく。
井田会長 各委員	事前質問と回答について、委員からの意見等があるか。 （追加意見、質問なし）
岐部委員	【当日質問①】 質問内容： 「産科・小児科医療体制維持検討・支援事業」「予防接種業務の連携」「住民健診事務の共同化、相互利用の推進」「健康管理システム共同化事業」について。ビジョンに計上するのは良いがいずれも予算がついていないのに KPI の進捗というものもどうなのか。「産科・小児科医療体制維持検討・支援事業」の KPI：産科医療機関数は、達成状況 100%であるがこれは第 1 次共生ビジョンの事業として何か施策をしたというのであれば達成率 100%というのはい良いが、何も事業として成果がないのに KPI 達成状況を入れるのもおかしいという印象である。
井田会長	事業予算がついていないのにどんな事業をしたのかということと、それに KPI をつけて事業報告することに意味があるのか、というご意見か。担当部会から説明を。
救急医療部 会	部会としては策定当時のメンバーがおらず、もともとの事業経緯が分からないままに、KPI の達成状況表作成したという状況である。実績については事務局におたずねしていただきたい。
井田会長	この事業を定住自立圏事業として取り組むことは決まっているわけであり、部会 はもっと責任を持つこと。担当部会は事務局に返すという回答ではなくて各部会で責任をもって回答していただきたい。
救急医療部 会	部会においてこの事業について協議をした際、この事業があがっていること自体が不思議であるという意見が大方であった。毎年部会事務局が変わっていく状況にあり、一定の視点でこの事業の経過を見ることが難しい。部会としては、第 2 次ビジョン計上事業についてはもう少しシビアな視点でということで協議しているところ。
今村委員	【当日質問②】 質問内容： 1 点目： 資料 4 と資料 2 の「目標達成見込」について、資料 2（P3）の具体的な取組における産業振興では 11 事業で全て「達成見込み」、資料 4 の産業振興では

事務局	「目標値を若干下回る」であったり、企業誘致のところでは、「未達成の見込」とあり、この違いは何か。 2 点目： 資料 3 P58、企業誘致の推進の分野に関する「達成状況に対する説明」について、当地域は地理的不利もあり企業の検討対象にさえなれていない状況と記載があるが、地理的不利という課題があるのであれば解決するための取組みというのが第 2 次ビジョンで入ってくるのかについて教えて頂きたい。 1 点目への回答： 資料 2 (P3) の産業振興 11 事業が達成見込み 100%に対し、資料 4 の同事業欄について、「目標値を下回る」「未達成見込み」という表記について、その整合性に関しては、資料 2 (P3) は、「個別事業の達成状況」についてのみ抜粋表記の意であり、資料 4 は、個別事業以外も掲載している形となる。資料 2 (P2) で、企業誘致の推進は「未達成の見込」と記載があるが、これは個別事業の取組みよりも大きな枠組みでの達成状況であり、大きな政策部分では未達成、個別事業では達成、というような意味合いになる。
企業誘致部会	2 点目への回答： 人吉球磨では平成 19 年度から企業誘致連絡協議会を設立し、10 市町村スクラムを組んで企業誘致に取り組んでいる。企業誘致活動をしていくなかで特に厳しいと思うのが、よその地域では高速道路のインターチェンジ付近に広大な産業用地を準備しており、そういったところと戦っている。人吉球磨で同じ状況でやっていけるかということ、担当者の考えではありますが非常に難しいと考えている。ここ 2、3 年で流れが変わってきており、製造業では地場産業でも人を集めるのが難しい、外国人の雇用を模索しているところもある。そういう状況で大企業をもってきて、地場産業と人材の奪い合い、いずれ共倒れするのではという危惧がある。現在はインターネット普及により、自宅で仕事が可能となったり、シェアオフィス、コアワーキングスペースというものがあり、そういった形態で仕事ができる流れができており、認知度もあがってきているため、そのような仕事ができる人材を育て、こちらでも都会でできるような仕事をできないかということを模索している。2 次ビジョンにはそういったものを組み入れながら、これまでの製造業分野などを諦めるということではないですが、両輪といった形で IT やベンチャー、スタートアップ企業などを圏域内に呼び込めたらと考えているところ。
岐部委員	【当日質問③】 先程のやりとりについて。人吉球磨が合併していないからやりにくいのだと思う。合併しなさいというメッセージではないかと思う。部会と事務局意見が違うということは、意思が統一されていないということ。2 次ビジョンでは合併へ向けての協議会などを見込むとか、そういったことをされてはどうか。率直な感想として。
井田会長	先程も話したが、人吉球磨は県内初の異なる自治体が組む相互補完型、まさに国が示したいパターンの定住自立圏である。なので、自分の自治体にないところは持っているところに保管してもらおうというもの。国も財政が厳しくなってきたので、個々の自治体全てにお金をばらまくことはできないわけで、やる気のある自治体にお金をあげる、差別化をしているのは明らか。合併しろということではないので、

小谷委員	別にそれぞれで構わないが、事務局が人吉市、各部会があり、部会事務局を圏域で回すわけで、ここで上手く引き継ぎができていない状況がある。ただ、そういった形で当初始まっているため、うまくいくように進めて行って欲しいと思う。 【当日質問④】 質問内容： 「圏域医療体制の充実」について。人吉球磨主要事業説明会のなかで、救急医療体制の話がでており、ある首長が公立多良木の医師確保もここでできないかという話をされている。この共生ビジョンのなかで一医療機関の医師確保というものを「圏域医療体制の充実」で扱えるものなのか、扱えるとするならば何か手立てができるのか、これを申し上げたいのは、ドクターの確保において、働き方改革のため、これまでは先生方が個人的な犠牲のなかでやられてきたが、これからは厳しく労基法のしぼりが入る。結果的にやりたくてもできないという、ますます厳しくなる状況にある。その点について共生ビジョンで組み込むことが可能なのかどうかをお尋ねする。
救急医療部会	部会においても意見が出ており、多良木公立病院がされている奨学金制度についても情報共有し認識をしている。圏域の中で同様に奨学金制度をするとなったとき、部会だけで問題にするには大きすぎるというか、力不足というか、部会だけで話すべきではないという意見が出ている。奨学金制度もそうですが、そもそも人材育成全てについて学校制度の中でももう少し学力の向上を図る、下支えからの施策をやっていないと、上だけ一生懸命やってもなかなかうまくいかないことであると思う。今、球磨村のほうで歯科医師のネット募集をされ、居住費や給料等について市町村が出しあって医師を獲得していく方策もあると聞いている。ただ、医師確保事業については、2次ビジョンに挙げつつも、もう少し考える時間をもったほうがいいのかという結論に至ったところ。ですので、2次ビジョンに挙げる挙げないということについては、この1年間、部会で話をしながら、実現可能な方策をもっていければと話しているところ。
井田会長	他圏域の事例で言うと、天草圏域の定住自立圏事業では医師確保対策として医師、看護師として進学した場合の奨学金制度があり、親御さんの方も助かるため実績も出ている。当座の方策としては、進学に対する方策として人吉球磨も高校があるので可能なのかなと。ただ、部会からもあったように、広く言えば全ての人材は小さい頃からの育成が必要ではあるが。以前、鹿児島県のある高校に入学すれば100万円あげますというところがあり、同じ国立大学に行くとしてもその高校からなら100万円がもらえるということなら人はそちらに動く。仮に、定住自立圏事業で、よそから移住した人に100万円あげたとしたら10年以内には消費で返せるという試算をやったことがある。子育て世代の4人家族での試算。今は移住策などでそういった策が日本でも出てきているが、何がしかのインセンティブの形としては、奨学金はあげる制度ではないので医師の資格をとったら地方で勤務してくださいという策なのでそういった取組みもある。本日は1次ビジョンの検証。事業としていかなものかというものも見えてきているかと思うので、そういうものを次期ビジョ

	ン策定においては解決していくことが大事である。部会には本日の意見を踏まえて2次ビジョンの策定へつなげて頂きたい。とりわけ、観光分野においては力点が入るのであると思われる。DMOをするのであれば、看板の書き換えだけにならないように、きちんとした理由のものを作らないと失敗する。KPIは、客観的指標で判断しようというもの。担当者の感覚による判断ではなく客観的指標としてどうなのかというもの。その点でご確認いただきたい。
岐部委員	【当日質問⑤】
事務局	質問内容： 2次ビジョンにおいて国からくるお金は1次ビジョンと同じか。 今の時点では、変更という話は聞いていない。同じになるかと思う。確定してから改めて説明。
竹原副会長	【当日質問⑥】
観光部会	質問内容： 文化財について、相良三十三観音の観光客は年々増えているのか。 イベントの来場者数の相良33観音分については、平成28年度が51000人、平成29年度が48000人、平成30年度が44000人と若干下がっている。地域によって力を入れておられるところは観光バスも入ってきているが、逆に人手が足りなくて限界に近づいているというところもあり、そういったところをどうやって守っていくかということが課題。
竹原副会長 観光部会	国宝青井阿蘇神社の経営は、神社がされているのか。市職員等が入っているのか。 市の職員は入っていない。神社本庁の管轄になり、宗教法人青井阿蘇神社が経営をされている。
竹原副会長 観光部会	相良三十三観音のおもてなしは広域行政組合が管轄であると思うが、予算は各神社に交付されるのか。 管理組合に補助として交付している。
竹原副会長	常に開帳していればもっとお客さんも増えと思うが、増えすぎても困るし、その辺が上手く回るとより観光につながると思う。
中村委員	【当日質問⑦】 「水上村乗合タクシー事業（仮称）」のH31年度実施内容について。自家有償運送を検討とありますが、自家用車で使用してお金を取るという意味か。民生委員においても高齢者を送迎するという方がおられますのでどういうことなのか教えていただきたい。
水上村総務課	自家有償運送につきましては、水上村で独自にバスを走らせて運送するというのが1つ想定にある。
井田会長 各委員	他にご質問、ご意見等はないか。 (なし)

事務局 井田会長 各委員 井田会長 事務局 各委員	議題（３） 第２次共生ビジョンの策定スケジュールについて 資料１に基づき事務局から説明 (主な説明点) ・平成３１年２月１４日開催の「推進協議会」（市町村長会議）において、全会一致で第２次ビジョン移行が決定 ・現在締結している「協定」について、期限の定めはなく、変更する場合、変更箇所について「変更協定」を締結する必要がある。原則として全市町村での同文議決が必要 ・今後の具体的スケジュールを説明 ただいまの説明に関しご意見・ご質問等ないか。 (意見なし) それでは本日の議事は全て終了しましたのでこれで私の務めを終わらせていただく。進行を事務局へお返しする。 ７ その他 委員から何か意見等ないか。 (意見なし) ８ 閉会
--	---